シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。
評価基準	テスト：５0%　小テスト：３０％　　授業態度：20%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

担当教員	菊水　由加	実務経験	○
実務内容	クリニックや形成外科など医療法人での勤務歴15年 正看護師免許取得		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 （第1章～2章）	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習（国家試験過去問題）と解説
2	人体の構造および機能の復習 （第3章～4章）	筋系、神経系の演習（国家試験過去問題）と解説
3	人体の構造および機能の復習 （第5章～7章）	感覚器、血液、循環器系の演習（国家試験過去問題）と解説
4	人体の構造および機能の復習 （第８章～9章）	呼吸器系、消化器系の演習（国家試験過去問題）と解説
5	皮膚科学（第１章）	皮膚の構造
6	皮膚科学（第２章）	皮膚付属機関の構造　1項　毛
7	皮膚科学（第２章～３章）	皮膚附属器官の構造　2項脂腺　3項汗腺　4項爪 皮膚の循環器系と神経系
8	皮膚科学（第４章）	皮膚と付属器官の生理機能
9	総まとめ	テストを実施する
10	皮膚科学（第５章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学（第６章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 1項　皮膚の異常と病態　2項皮膚炎・湿疹・3項　蕁麻疹・4項　薬疹　5項　口唇の疾患
12	皮膚科学（第６章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 6項温熱・寒冷による皮膚障害　7項角化異常による皮膚疾患　8項　色素異常による皮膚疾患 9項　血管腫　10項　脂腺母斑　11項　下肢静脈瘤　12項　分泌異常による皮膚疾患
13	皮膚科学（第６章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 13項　化膿菌による皮膚疾患　14項ウイルスによる皮膚疾患　15項　真菌による皮膚疾患 16項　衛生害虫による皮膚疾患　17項　感染症の皮膚予防　18項　毛と爪の疾患　19項　皮膚の腫瘍
14	総まとめ	テストを実施する
15	解説 皮膚科学（第６章）	振り返り・解説

16	皮膚科学の復習（第１～２章）	皮膚の構造と皮膚の付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習（第２章～４章）	皮膚の付属器官の構造と循環器系と神経系の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第５章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第６章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	（学則表記）	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	1	30
使用教材	文化論		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファション文化史の流れを習得する。		
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。		
評価基準	テスト：５0%　小テスト：３０%　　授業態度：20%		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	平良優季	実務経験	○
実務内容	沖縄県立芸術大学・名桜大学非常勤講師		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節　近代（明治）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
2	第3章ファッション文化史日本編 第7.8節　近代（大正）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
3	第3章ファッション文化史日本編 第9節　現代Ⅰ（1945～1950年代）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
4	第3章ファッション文化史日本編 第9節　現代Ⅰ（1945～1950年代）	明治・大正・昭和の髪型・服装について
5	第3章ファッション文化史日本編 第9節　現代Ⅰ（1945～1950年代）	現代Ⅰ（1945～1950年代）の髪型・服装・化粧について
6	第3章ファッション文化史日本編 第10節　現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅱ（1960～1970年代）の髪型・化粧・服装について
7	第3章ファッション文化史日本編 第10節　現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅲ（1980～1990年代）の髪型・化粧・服装について
8	第3章ファッション文化史日本編 第10～12節　現代Ⅱ（1960～1970年代）	現代Ⅳ（2000年代以降）
9	第5章　礼装の種類 第1節　和装の礼装 第2節　洋装の礼装	和装の礼装について
10	第5章　礼装の種類 第1節　和装の礼装 第2節　洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章　礼装の種類 第1節　和装の礼装 第2節　洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章　礼装の種類 第1節　和装の礼装 第2節　洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第9節　第10節	テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
15	総まとめ	総まとめを行う

16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	（学則表記）	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	1	30
使用教材	運営管理		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。		
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。		
評価基準	テスト：50%　小テスト：30%　　授業態度：20%		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	呉屋　倫子	実務経験	○
実務内容	美容師免許取得後、美容室勤務（8年）、運営管理免許取得		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	イントロダクション	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する
2	第1編　経営者の視点 第1章　経営とは・経営者とは 第１節　第２節 第３節	経営とは何か、経営者の責任、経営の目的を理解する。
3	第1編　経営者の視点 第1章　経営とは・経営者とは 第４節　第５節	経営戦略とは何かを理解する。
4	第２章　理容業・美容業の経営について 第1節 第２節	業界の概要、理容業・美容業を取り巻く社会の変化を理解する。
5	第２章　理容業・美容業の経営について 第3節	理容業・美容業における競争を理解する。
6	第２章　理容業・美容業の経営について 第４節 第５節	競争の未来図、理容業・美容業の顧客を理解する。
7	第1編　第３章　資金の管理 第1節　第2節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する
8	第1編　第３章　資金の管理 第3節　第4節	資産と負債、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する
9	第1編　第３章　資金の管理 第5節	税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する
10	第1編　第３章　資金の管理 第5節	税金②税金の申告　青色申告と白色申告を理解する

11	第２編人という資源 従業員としての視点 第1章　人という資源	人という資源・労働者の権利　やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する　Ｐ４８～Ｐ６１
12	第２編人という資源　従業員としての視点　第２章　従業員としての視点から 第１節　第２節	社会保険①国民年金を学ぶ
13	第２編人という資源 従業員としての視点 第2章　従業員のとしての視点から　第２節	社会保険①厚生年金を学ぶ
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前期定期試験
15	振り返り	回答＆解説
16	第２編人という資源 従業員としての視点 第２章従業員としての視点から 第３節	社会保険②健康保険を学ぶ　Ｐ６８～Ｐ７１
17	第２編人という資源 従業員としての視点 第２章従業員としての視点から 第３節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ　Ｐ７１～Ｐ７３
18	第２編人という資源 従業員としての視点 第２章従業員としての視点から 第４節	社会保険③雇用保険を学ぶ
19	第２編人という資源 従業員としての視点 第２章従業員としての視点から 第４節	社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
20	第２編人という資源 従業員としての視点 第3章健康・安全な職場環境の実現　第１節　第２節	健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康

21	第２編人という資源 従業員としての視点 第3章健康・安全な職場環境の実現 第３節　第４節	理容業・美容業に特徴的な健康課題、作業環境に関する健康問題を理解する。
22	第２編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から	後期授業習得度の確認
23	第3編　顧客のために 第1章　サービス・デザイン	サービス・デザインの基本を学び、サービス・システム①を学ぶ
24	第3編　顧客のために 第1章　サービス・デザイン	サービス・システム②、新しいサービスをデザインする。
25	第3編　顧客のために 第2章　サービス・マーケティング	理容業・美容業のマーケティング、マーケティングリサーチ、サービスの改善を理解する。
26	第3編　顧客のために 第2章　サービス・マーケティング	コミュニケーションやコスト、情報活用について理解する。
27	第3編　顧客のために 第3章　サービスにおける人の役割	接客についての理解を深める。接客の実践①ー③を理解する。
28	第3編　顧客のために 第3章　サービスにおける人の役割	接客におけるトラブル対応を理解する。
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	（学則表記）	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅱ		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。		
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。		
評価基準	テスト：５0%　小テスト：３０％　　授業態度：20%		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	上床　梨絵	実務経験	○
実務内容	美容師免許取得後、美容室、フォトスタジオ、ブライダルヘアメイク勤務(9年)		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	≪ 8章　エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマッサージ 7. フェイシャルパック　8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マッサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	≪ 9章　ネイル技術 ≫ 1. ネイル技術概論　2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能　4. 爪のカツト形状 5. ネイル技術と公衆衛生	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー＆フィラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマッサージのポイント・手順、フットマッサージのポイント・手順
5	≪ 10章　メイクアップ ≫ 1. メイクアップ概論 2. 皮膚の生理と構造 3. フェイスプロポーション 4. 色彩について　5. パーソナルカラー	・メイクアップ概論・皮膚の生理と構造、表皮，真皮，皮下組織・フェイスプロポーション，顔の各部の名称　・色彩について，色の三属性，色相，明度と彩度，色調・パーソナルカラー，spring，summer，Autumn，winter
6	6. 用具の種類と消毒方法 7. メイクアップ 8. ブライダルメイクアップ 9. 肌質別修正メイクアップ	・主な用具の種類，衛生について，手指の消毒，タオル類の消毒，・用具の洗い方，ブラシ類，パウダーパフ，アイシャドーチップ，・用具の消毒方法，消毒の手順，血液が付着していない場合、血液が付着している、あるいはその疑いのある場合　・メイクアップ　スキンケア、クレンジング，化粧水，乳液，スペシャルケア　・ベースメイクアップ化粧下地，毛穴補正料，コントロールカラー，ファンデーション，コンシーラー，フェイスパウダー・ブラッシュオンメイクアップ，チーク，ハイライト、シャドー　・アイブロウメイクアップ、眉の毛の流れ，眉の形の基本，代表的な眉の形　・アイメイクアップ，アイカラー（アイシャドー），アイライン、アイラッシュカール、マスカラ　・リップメイクアップ、代表的なリップライン　・ブライダルメイクアップ、男性のメイクアップ、スキンケア、カバーメイクアップ、眉、シャドー、リップケア・肌質別修整メイクアップ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、
7	10. まつ毛エクステンション	・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、
8	総まとめ	テストを実施する　8章～11章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
9	≪ 11章　日本髪 ≫ 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴　5. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
10	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ　10. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）

11	≪ 12章　着付けの理論と技術 ≫ 1. 着付けの目的　2. 礼装　3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ　5. 帯　6. 小物 7. 着物各部の名称　9. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
12	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 14. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、 帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
13	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 19. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
14	まとめ	まとめを実施する　11章～13章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
15	解説	テストの振り返り・解説
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具　重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン　重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマネントウエービング　重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング　重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ　総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する　美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	（学則表記）	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	1	30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。		
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。		
評価基準	テストおよび小テスト：８０％　授業態度：２０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	長田　哲	実務経験	○
実務内容	高校公民、中学校社会、小学校の免許を取得後、高校、中学校、小学校教師として８年間従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章　法制度の概要 第1節　第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会生活における法の役割 日本の法令体系
2	第1章　法制度の概要 第3節　第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章　衛生行政の概要 第1節　～　第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章　理容師法・美容師法 第1節 第2節	「美容師法」の目的 「美容師法」で用いられる用語の定義
5	第3章　理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程
6	第3章　理容師法・美容師法 第3節	美容師免許の申請と欠格条件
7	まとめ	まとめを実施する。
8	解説	振り返り・解説
9	第3章　理容師法・美容師法　第3節	美容師に求められる義務
10	第3章　理容師法・美容師法　第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章　理容師法・美容師法　第3節	管理美容師
12	第3章　理容師法・美容師法　第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章　理容師法・美容師法　第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する。
15	解説・総まとめ	振り返り・解説

16	第3章　理容師法・美容師法　第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章　理容師法・美容師法　第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章　理容師法・美容師法　第7節	違反者に対する罰則
19	第4章　関連法規	衛生に関連する法律
20	第4章　関連法規	業の振興に関連する法律、雇用に関連する法律、消費者保護に関連する法律
21	まとめ	まとめを実施する。
22	解説	振り返り・解説
23	第1章　第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する。
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（1）	国家試験過去問演習等
29	総復習（2）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する。

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	2	60
使用教材	衛生管理		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、 衛生面についての理解する。
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけではなく、 業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。
評価基準	テスト：５0%　小テスト：３０%　　授業態度：20%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

担当教員	仲西　佳代	実務経験	○
実務内容	看護師としてICU、慢性病棟、リハビリ病棟など9年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	第4編　衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
2	第4編　衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
3	第4編　衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
4	第4編　衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
5	第4編　衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒薬の概要、消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
6	第4編　衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒薬の概要、消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
7	第4編　衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の消毒の実際
8	第4編　衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の消毒の実際
9	第5編　衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1 目的～第4 衛生的取ｻ扱い等
10	第5編　衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1 目的～第4 衛生的取ｻ扱い等
11	第5編　衛生管理の実践例 1章衛生管理要領③	第5 消毒～第6 自主的管理体制
12	第5編　衛生管理の実践例 1章衛生管理要領④	第5 消毒～第6 自主的管理体制
13	まとめ	衛生管理技術、衛生管理の実際 まとめを実施する。
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う

16	公衆衛生	公衆衛生のまとめと問題演習
17	公衆衛生	公衆衛生のまとめと問題演習
18	環境衛生	環境衛生のまとめと問題演習
19	環境衛生	環境衛生のまとめと問題演習
20	感染症	感染症のまとめと問題演習
21	感染症	感染症のまとめと問題演習
22	感染症	感染症のまとめと問題演習
23	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	香粧品化学		
必修選択	必修	（学則表記）	香粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	2	60
使用教材	香粧品化学		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容技術理論」、及び「美容実習」と関連させながら、実際的な知識の習得する。
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。
評価基準	テスト：５0%　小テスト：３０％　　授業態度：20%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格
関連科目	衛生管理、美容保健、美容技術理論
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

担当教員	與那覇　梢	実務経験	○
実務内容	薬剤師として薬局勤務25年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	第1編　第1章：香粧品総論　　第2章：香粧品を使用する際に気を付けること	香粧品の社会的意義を踏まえ、その有効性と安全性を確保するための国による規制やメーカーの対応などから使用する際の注意その他
2	第3章：香粧品の成り立ち　「水と親水性溶媒」	溶質と溶媒、有機・無機化合物、アルコールの種類と特徴のまとめ
3	第3章：香粧品の成り立ち　「油性原料」「界面活性剤」	油性原料（油脂、ロウ類、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール、シリコーン油など）　界面活性剤の種類と性質
4	第3章：香粧品の成り立ち　「高分子化合物」「色材」	高分子化合物（天然・半合成・合成）　色材（無機顔料・タール色素など）
5	まとめ総合および中間試験	1～4回までの総復習および中間試験
6	第3章：香粧品の成り立ち「天然色素」「香料」「配合原料」	天然色素、香料、配合原料（防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤・収れん剤など）合成樹脂など
7	第2編　第1章：スキンケア製品①	クレンジング用香粧品・コンディショニング用香粧品（クリーム・乳液を含む）とエモリエント剤の復習
8	第2編　第1章：スキンケア製品②	トリートメント用香粧品・サンケア製品・美白用香粧品・ニキビ用香粧品・打粉類・パック剤
9	第2編　第2章：メイクアップ製品	ベースメイクアップ製品、アイメイクアップ製品、まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品
10	第2編　第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスキャルプケア製品①	ヘアクレンジング用香粧品、ヘアコンディショニング用香粧品、ヘアスタイリング料・総復習
11	第2編　第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスキャルプケア製品②	パーマ剤（パーマの原理、分類など）
12	第2編　第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスキャルプケア製品③	ヘアカラー製品・スキャルプケア製品
13	まとめ総合および期末試験	6回から12回までの総復習および期末試験
14	試験解説よび総復習	期末試験の解説および総復習
15	前期総まとめ	前期総まとめ

16	前期内容確認	前期で学習した内容を総復習しながら、不十分な範囲などを補足する。
17	化学範囲補充	教科書化学範囲（関連事項）について補足授業
18	香粧品化学総合①	香粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
19	香粧品化学総合②	香粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
20	香粧品化学総合③	香粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
21	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
22	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
23	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
24	まとめ総合および期末試験	期末試験（全範囲）
25	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - A		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材	オールウエーブ教材一式　衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する
評価基準	総まとめ４０％　まとめ３０％　提出物２０％　授業態度１０％
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格（実技）
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－C・美容実習Ⅱ－E
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。
担当教員	新垣　優美(他2名)
実務経験	○
実務内容	美容師免許取得後、サロン勤務（4年）

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウエーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） １年次おさらい　１段目～３段目、くりぬき（ウエーブ・リッジ）、計測２７分
2	オールウエーブセッティング	１年次おさらい　１段目～３段目、くりぬき（ウエーブ・リッジ）復習、計測２７分～２５分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール導入（手順、スライス、ピニング）、美容師国家試験衛生
3	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２５分～２０分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生
4	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２０分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生 ６段目メイポール導入
5	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２０分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生 ６段目メイポール導入
6	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２０分～１７分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生 ６段目メイポール復習、強化、７段目クロッキノールカール導入
7	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２０分～１７分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生 ６段目メイポール、７段目クロッキノールカール復習、強化、７段構成全体のバランス
8	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する １段目～３段目、くり抜き、４段目右リフトカール、５段目左リフトカール計測２６分 ６段目メイポール、７段目クロッキノールカール復習、強化、計測、７段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	７段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測４段目～７段目カール１２分 ７段構成 計測３５～３０分、美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング	７段構成 計測３５～３０分　美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング	７段構成３０～２５分　美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング	７段構成３０～２５分　美容師国家試験衛生
13	オールウエーブセッティング	７段構成２５分　美容師国家試験衛生
14	オールウエーブセッティング 総まとめ	７段構成２５分　総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - B		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材	ワインディング教材一式　衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する
評価基準	ワインディング：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％ 国家試験カット：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格（実技）
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－C・美容実習Ⅱ－E
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。
担当教員	前川 和也（他１名）
実務経験	○
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（９年）

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い）　１年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み　全頭巻き２２分～２０分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み　全頭巻き２２分～２０分
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み　全頭巻き２０分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み　全頭巻き２０分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み　全頭巻き２０分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み　全頭巻き２０分
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング込み　全頭巻き２０分
9	ワインディング　まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生　全島計測２０分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生　国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い）　１年次おさらい　カット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）１８分～１６分（チェックカット込み）２２分～２０分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）１８分～１６分（チェックカット込み）２２分～２０分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）１８分～１６分（チェックカット込み）２２分～２０分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット　まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生　国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生　国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り　課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - C		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式　オールウエーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　時間内に合格基準を満たす技術を習得する
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する
評価基準	ワインディング：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％ オールウエーブ：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格（実技）
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－A・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－E
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウエーブセッティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。
担当教員	呉屋 倫子（他2名）
実務経験	○
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（８年）

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】		
回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング　まとめ	ワインディング・美容師国家試験　国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング　総まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生　総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

各回の展開【オールウエーブセッティング】		
回数	単元	内容
1	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
6	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウエーブセッティング　まとめ	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生　国家試験タイムでまとめを実施する
8	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング　総まとめ	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - D		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ - D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	カッティング教材一式　シャンプー教材一式　衛生教材一式 改正美容師技術試験課題　衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	美容師国家試験第１課題カッティングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第２課題オールウエーブ技術について基礎を理解し習得する
到達目標	国家試験第１課題レイヤーカット技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す
評価基準	国家試験カット：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％ シャンプー：１０％／各校フリー：総まとめ２０％　まとめ１５％　　授業態度５％ 各校フリー：総まとめ３０％　まとめ１５％　授業態度５％
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格（実技）
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－E
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「シャンプーイング／各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。

担当教員	前川 和也（他１名）	実務経験	○
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（９年）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット　まとめ	国家試験カット・美容師国家試験　国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット　総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生　国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

各回の展開【シャンプーイング／各校フリー】		
回数	単元	内容
1	シャンプーイング	シャンプー台の利用の仕方、シャンプ－知識、ブラッシング、シャワーヘッドの使用方法 シャンプーのプロセスの理解
2	シャンプーイング	プレシャンプー　シャンプー手順　１シャンプー
3	シャンプーイング	シャンプー手順　１シャンプー
4	シャンプーイング	シャンプー手順　１シャンプー　トリートメント
5	シャンプーイング	シャンプー手順　２シャンプー　トリートメント
6	各校フリー	※６回目以降　各校フリー
7	各校フリー	各校フリー
8	各校フリー	各校フリー
9	各校フリー	各校フリー
10	各校フリー	各校フリー
11	各校フリー	各校フリー
12	各校フリー	各校フリー
13	各校フリー	各校フリー
14	各校フリー	各校フリー
15	各校フリー	各校フリー

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - E		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ - E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウエーブ教材一式・カッティング教材一式　衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する
到達目標	美容師国家試験 第１課題・第２課題・国家試験衛生合格レベルを習得する
評価基準	総まとめ４０％　まとめ３０％　授業態度３０％
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格（実技）
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－A・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－C・美容実習Ⅱ－D
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。
担当教員	呉屋 倫子（他3名）
実務経験	○
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（８年）

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第１課題・第２課題 まとめ	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生　まとめを実施する
8	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第１課題・第２課題 総まとめ	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生　総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	スチール撮影実習Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	スチール撮影実習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	カメラ機材 筆記用具		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	作りたいヘアメイクのデザインには、どの様なライトやバック紙を選択すれば良いかを知る
到達目標	バック紙等、背景の違いによるメイクアップ効果の違いを知る 様々なシーンに合わせた背景を選べるようになる
評価基準	テスト50%、提出物30%　授業意欲20%
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	美容実習Ⅰ-E、スチール撮影実習Ⅰ、ヘアメイク実践Ⅰ-A
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・野外での授業は天候により授業の展開が変わることがあります。

担当教員	村上　佑	実務経験	○
実務内容	フォトスタジオ勤務6年　フォトスタジオ経営9年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション バック紙の使い方と効果	オリエンテーション(後期の流れ・作品撮影・ヘアメイク連動について) 授業の目的目標、評価基準、授業ルール
2	白バック紙にて撮影①	白いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
3	白バック紙にて撮影②	
4	白バック紙にて撮影③	
5	黒バック紙にて撮影①	黒いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
6	黒バック紙にて撮影②	
7	黒バック紙にて撮影③	
8	野外のロケーションにて撮影①	野外のロケーションで、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
9	野外のロケーションにて撮影②	
10	カラーバック紙にて撮影①	カラーバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
11	カラーバック紙にて撮影②	
12	カラーバック紙にて撮影③	
13	作品制作①	テスト 自分でヘアメイクに合うライティングやバック紙を考え作品制作を行う
14	作品制作②	
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	就職対策 II		
必修選択	必修	(学則表記)	就職対策 II		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	全学科	1	30
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社ADE CREATES	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材。		
到達目標	希望の就職先に内定		
評価基準	テスト：10%　提出物・課題：50%　授業態度：40%		
認定条件	出席が総時間数3分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上のもの		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員	呉屋 倫子（他4名）	実務経験	○
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（８年）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	夢	2年生になって、ここからの目標・学校生活、就職について
2	人間力	人間関係の構築・就職活動（GWの課題）
3	人間力	集団行動の大切さ・就職活動の課題
4	夢	企業研究
5	人間力	プレゼンテーション・グループディスカッション
6	人間力	チームワーク（熱い動画）
7	夢	美容業界リサーチ
8	人間力・夢	就職先リサーチ・ディスカッション
9	人間力	チームワークとやりきる力
10	人間力	行事を通してのクラス、学年の団結の振り返りとこの先へ向けて

11	夢	美容業界の知識を深める
12	夢	若手実業家（動画）
13	夢	企業研究・話す力・聴く力、夏休みの課題について
14	夢	課題のプレゼンテーション
15	人間力	前期の振り返り（目標達成度の確認）
16	人間力	オリエンテーション（なりたい自分に向けて） レクレーション
17	人間力	担任の想い
18	夢	一般常識
19	夢	社会人として求められているもの
20	人間力	愛される人材とは

21	人間力	メンタルトレーニング①
22	人間力	メンタルトレーニング②
23	夢	企業研究
24	人間力	感謝の気持ち
25	夢	企業研究
26	夢	CASEスタディ①
27	夢	CASEスタディ②
28	人間力	卒業してからの自分を想像する
29	夢	企業研究の総まとめ
30	夢	2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅰ（特殊メイク）		
必修選択	選択	（学則表記）	ヘアメイク実践Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	5	150
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社		

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする		
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる		
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が２以上の者		
関連資格			
関連科目	ヘアアレンジⅡ、サロンワーク		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	若林　知美	実務経験	○
実務内容	美容師免許取得後、美容室勤務を得てフリーランスヘアメイクとして活動		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	ビューティーレイアウト	顔のバランスを分析する
3	老人メイク	老人のメイクを実践する
4	表情①	怒り、悲しみ、喜びの表情を表現する
5	表情②	怒り、悲しみ、喜びの表情を表現する
6	テスト	テーマに合わせたメイクを実践するテスト、振り返り
7	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入・実践
8	傷メイク②	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践
9	エアブラシ①	テーマに合わせたメイクの導入・実践
10	エアブラシ②	テーマに合わせたメイクを実践する
11	テスト	テーマに合わせたメイクを実践するテスト、振り返り
12	舞台メイク①	舞台メイク導入
13	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する
14	舞台メイク③	舞台の男役メイクを実践する
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅱ（着付）		
必修選択	選択	（学則表記）	ヘアメイク実践Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	教本・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点））・和装スリップ（下着）・クリップ（2本セット）足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け３級（６月強制受験　免許強制） ・着付け２級（１２月強制受験　免許任意） を取得することが出来る。
評価基準	検定試験：４０％　　テスト：３０％　　授業態度：３０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会の　きもの着付け資格
関連科目	ヘアメイク実践Ⅰ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

担当教員	仲里　千枝子他	実務経験	○
実務内容	きものコンサルタント40年 専門学校非常勤講師10年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	振袖の着せ方１	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	振袖の着せ方２	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
3	振袖の着せ方３	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
4	振袖の着せ方４	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
5	振袖の着せ方５	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
6	振袖の着せ方６	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
7	振袖の着せ方７	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
8	振袖の着せ方８	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け２級検定試験（振袖にふくら雀３０分）を実施する

11	留袖の着せ方１	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
12	留袖の着せ方２	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
13	紋服の着せ方	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
14	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
15	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う